

花が咲き終わったら

球根は花が咲き終わっても翌年新たに使うことができます。その場合、球根の多くは霜に敏感なため、葉が枯れた後に土から掘り上げなければなりません。乾燥した、霜のあたらない暗い場所に保存します。ユリの球根は例外で、土に入れたままで翌年にまた咲き出します。ユリの球根は種類も豊富で大きさも様々です。



翌年再び球根を楽しみます。



ユリ



グラジオラス



ダリア



オキザリス デッペイ



ラケナリア



モントブレチア



球根ペゴニア



グロリオサ



球根ペゴニア



カンナ



アガパンサス



ユリ



オランダ国際球根協会  
ヒレゴム - オランダ



Summer Bulbs

～春植え球根を楽しむために～

霜の時期が終わってから5月下旬までに植え付けましょう。

## 春植え球根で楽しむ

球根を植え付けてみましょう

球根を選ぶときには、開花時期の違いを考慮に入れて下さい。そうすることで、6月から10月まで、美しい夏の庭を楽しむことができます。秋に再びチューリップやスイセンなどの秋植え球根を植えると、2月からまた違った新たな庭を楽しむことができます。

好きな色で楽しむ

色のコンビネーションもとても大切です。いろいろな種類と一緒に植えてみましょう。例えばアネモネ20球、オーニソガラム9球とダリア3球といったように。ペゴニアとダリア'トップミックス'などの小さいダリアのコンビネーションや、丈が低くたくさん花のつく新種のダリア ノーヴァギャラリーとダリア インプレッションのコンビネーションも鉢植えによく合います。

草丈の違いで遊ぶ

草丈の変化は庭に活発な印象を与えてくれます。草丈の違いで遊ぶには、球根と球根を植える場所を選ぶことから始めます。グラジオラスやユリなどの草丈の高い春植え球根を色のアクセントとして、灌木や草丈の高い多年草などの隣に植えます。ペゴニア、カタバミ、アネモネなどの草丈の低い春植え球根は土の表面を覆うタイプの多年草の間でよく映えます。



### 植え付ける時期

春植え球根は、夜に霜の降りる可能性がなくなってすぐから5月下旬まで植えることができます。

### 日当たりの良い場所に

球根は太陽が大好きです。庭の日当たりのよい場所に植えるか、鉢を日当たりのよい場所に置きます。

### 植え方

春植え球根はいろいろな方法で植えることができます。例えばスコップで穴やみぞをつくり、そこに球根を置き、土を上からかぶせます。

### 植える間隔は？

小さい種類では10センチの間隔がよいでしょう。グラジオラスで12センチ、ペゴニアで25センチ、ユリで30センチ、ダリアでも40センチの間隔が適当です。花がぎっしりと咲いた状態にしたい場合、ほとんどの球根は通常よりも少し狭い間隔で植えることもできます。

### 土の準備

植える前に土をよく耕さなければなりません。その後土を少し平らにしますが、かためてはいけません。水はけのよい土であれば、春植え球根はどんな土にも植えられます。最初の開花のための肥料は基本的に必要ありません。重い粘土の場合、一番上の層を砂または肥料と混合するのが一番よい方法です。そうすることにより粘土を少しやわらかくすることができるからです。鉢の場合、培養土あるいは鉢植え用の土を使うことができます。

### 植えたらすぐに水を与えましょう

春植え球根は植えた直後、根を形成するためにたくさんの水を必要とします。乾燥した春の時期には庭や鉢の土を湿った状態に保たなければなりません。



## 球根を植える

### 植える深さ

一般的に球根はその高さの2倍の深さに植え付けます。つまり5センチの高さの球根は10センチの深さに植えます。ペゴニアとダリアは例外で、表土のすぐ下に植えなければなりません。

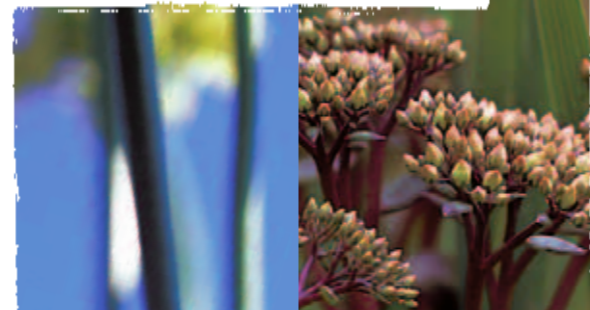
### 庭で育てた花で飾る

家の中に飾る花として、自分の庭から花を摘んでくることができればさらに楽しみは広がります。春植え球根の数種類は室内に飾る花としても使えます。特におすすめできるのはグラジオラスやダリア、ユリなどです。花を摘んでしまうことで庭の景観がかわれてしまうとお考えかもしれませんが、庭に室内を飾るための花のコーナーを作ることできます。その場合、球根を通常より狭い間隔で

植えます。室内に飾る花の場合も花時期に気をつけましょう。開花時の異なる春植え球根を植えれば、その間、新鮮な花を室内でも楽しむことができます。



## あなた独自の新鮮な切花。



## 夏の上品な庭づくりのヒント

1.

花が咲いたものを鉢に植え替えてみましょう。

2.

窓辺やベランダに鉢をつるして楽しみましょう。

3.

開花時期の違いに気をつけることで、夏の間、庭で花を長く楽しむことができます。

4.

草丈の違いで遊びます。高い草丈の花と低い草丈の花を交互に植えます。

5.

室内に飾る花のコーナーを庭に作ります。まるで「お花屋さん」がすぐそばにあるかのように。

6.

多年草や一年草と春植え球根を組み合わせると夏らしい花壇を作りましょう。

ほとんどの春植え球根は鉢に植えて楽しむことができます。そのままバルコニーに夏らしいアクセントを、テラスにはさらに色どりを添えることができます。この場合、ペゴニアや草丈の低いダリア、カンナ、ユーコミス、カラー、カタバミなどがよいでしょう。ほとんどの種類の鉢にも植えることができます。球根は鉢に植える場合、庭に植えるときよりも狭い間隔で植えることができます。

### 鉢と水やり

鉢植えは、庭に植えるときよりも水やりに注意が必要です。鉢植えの場合、水が多すぎても少なすぎても庭植えの場合よりも問題が発生します。水はけをよくすることと、球根が「濡れない」ようにすることは大切です。そのため、鉢を選ぶときに鉢の底に適切な大きさの穴があるかどうか気に付けてください。さらに、鉢植えの場合には球根が乾燥しすぎないぐらいの深さに植えてください。定期的に水をやり、咲き終わった花を取り除きます。

## 色とりどりの鉢

